

平成15年度

予算を問う



行財政

平成15年度予算

市川議員 平成15年度予算の特徴として、内部努力で歳出の削減に努める一方、事業方法の工夫などで歳入の確保に努めたことをあげている。5か年計画での既定方針以外に新たに組み込んだ方策にはどのようなものがあるか。

答 歳出では、高齢者福祉センターの委託および高齢者

在宅サービスセンターの民営化、地域センター分室の委託などで財政効果をあげている。歳入では、ファミリーサポートセンター事業運営方法の工夫による補助金増額、区報などの広告収入といった、さまざまな取り組みをしている。

総括質疑

予算特別委員会

予算特別委員会では、2月26日、27日の2日間にわたり、5人の議員が予算全般について、質疑を行いました。質疑の項目と主な内容をお知らせします。

市川 みのる(自民)	1 区長の政治姿勢について 2 平成15年度予算について 3 中野サンプラザについて 4 その他	西村 孝雄(公明)	1 震災対策について 2 高齢者への賃貸住宅について 3 まちづくり問題について 4 「中野区保健福祉総合推進計画」(概要)について	木村 勝昭(自治)	1 区民と行政の「参加の区政」と「協働の区政」について	藤本 やすたみ(民主)	1 平和の森公園の利用について 2 放置自転車対策について 3 地域課題に取り組む姿勢について 4 その他
岩永 しほ子(共産)	1 新年度予算案について 2 障害者施策の改善について 3 教育行政について 4 山手通り問題などについて	中野サンプラザ取得	まちづくりへの取り組み	中野議員	まちづくりとは、10年単位、規模によっては50年単位で考えるものだ。行政はもとより住民と民間が協働して取り組まなければ実現できない。都市計画の変更手続きには十分気をつけるべきだ。区長の決意はどうか。	岩永議員	区は多額の税金を投入している。調査を行い、計画をつくってきたが、いずれも実施に至っていない。このことについて、どのような総括をしているのか。

防災

木造住宅の耐震診断

西村議員 震災時において、木造住宅の倒壊や火災に対して不安を感じている区民は多い。現行の自己診断という方法ではなく、建築士事務所協会などと連携し、専門家による木造住宅の耐震診断を区が無料で実施してはどうか。

答 防災まちづくりに資する制度として、既存建築物への支援は必要であると認識している。建物という個人資産に対し公費を支出することの問題もあり、直接助成という形ではなく、幅広い区民の方が利用しやすい耐震診断助成制度を研究していきたい。

環境・建設

センターなどでの相談業務を通じて、事業の周知、利用者の誘導を図っていく。②自立

の認定が出なければ利用できないという点は改善する。

中野サンプラザ取得

市川議員 中野サンプラザについて、区長は、取得するか否かの態度をはっきりさせていない。区長自らのスタンスを示すためにも、適切な決断が求められる。改めて考えを伺いたい。

答 中野サンプラザのシンボリック機能は重要であり、基本的には購入するべきと考え

る。しかし、区の事業とするには、財政的にも事業の位置付けとしても難しい。区民や議会の議論をいただきながら、独立採算が可能か調査し、検討しているところである。

保健・福祉

自立支援型家事援助サービス

岩永議員 高齢者が介護保険に頼らずに、自立した生活を送りたいという希望を支援することが大事だと思うが、①制度の周知を図ることが必

要ではないか。②自立という認定を受けなければ利用できないという条件にこだわらず、気軽に利用できる制度にすべきではないか。

答 ①高齢者福祉センターなどでの周知、在宅介護支援

中野議員 区は多額の税金を投入している。調査を行い、計画をつくってきたが、いずれも実施に至っていない。このことについて、どのような総括をしているのか。

答 中野区周辺地区整備構